

## てんごくのおとうさんへ

群馬県  
高崎市立六郷小学校一年

坂本 岳央

おとうさん、てんごくも、まいにち、あついですか。ぼくは、あつさにまけず、あさはやくおきて、ラジオたいそうにいたり、がつこうのプールへいって、おもいつきりおよいだりして、げんきにすごしています。

おとうさんは、ぼくが、がつこうを、いやがらずに、ちゃんといけるかどうか、しんばいしていたけど、がつこうは、すごく、たのしいです。たんにんのゆうみせんせいは、やさしいし、なかのいい、おともだちも、たくさんできました。

さいしょ、ぼくは、きのうまで、あんなにげんきだった、おとうさんが、とつせんしんでしまった、ということが、よくわかりませんでした。いつか、きつと、ぼくたちのところへ、かえつてきてくれると、おもっていました。

ところが、なんにち、まつても、おとうさんが、かえつてきてくれないので、ぼくは、おかあさんに「おとうさん、ほんとうにしんじやったの。」と、きいてみました。

「おとうさんは、しんだんじやなくて、うちゅうへいって、ちきゅうのみんなをまいにち、それからみもつてくれているんだよ。」と、おかあさんは、こたえました。

それから、ぼくは、いちにちに、なんかいいも、そらを見るようになりました。がつこうで、おともだちとけんかしてこまつたとき、じょうずに、えがかけなくて、なきそうになつたとき、おとうさんのことをかながえているうちに、し

ぜんとゆうきがわいてきました。（おとうさんは、なんて、すごいらろう。きつと、ぼくたちのかみさまになつたんだ。）と、そのときぼくは、おもいました。

おとうさんは、ぼくがわからないことがあると、ぼくがほんとうに、わかるまで、とことんおしえてくれました。げすいどうのしくみや、ちずのみかたなど、パソコンでくわしくしらべ、ずにかいたりして、ていねいにおしえてくれましたね。おかげで、いつのまにか、ぼくも、パソコンをそうさできるようになりました。しょうぎやオセロ、でんしゃのしゆるいやしくみなど、おとうさんにおしえてもらったことは、かぞえきれません。とくに、ペットボトルで、ロケットをつくりかんのんやまへつれていつてくれたときは、いまでもよくおぼえています。そこでおしえてもらった、ぎゅうにゅうパックのプーメランは、ぼくとおとうさんのおもいであつた、だいじなたからものになりました。

このあいだ、じょうききかんしゃのきてきがきこえてきたとき、ぼくはおとうさんとデゴイチにのつて、みなかみへいったときのことをおもいだしました。ロープウェイとゴンドラにのり、てっぺんまでいきましたね。

ぼくは、おとうさんのおもいでをこれからもずっとたいせつにしていきたいです。